



# 木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2020年10月11日(日) 9:30~12:00 (快晴)

参加者 一般：4名

指導員：3名

## テーマ 「赤トンボを探そう！」

台風14号が東海地方沖を通過した後で秋晴れとなりました。

例年この時期になるとアキアカネが産卵のため山地から水田地帯へと移動して来るので、この日のテーマは赤トンボ探しです。ところが、今年は天候のせいかりへの移動が遅れているようで、昨日までアキアカネを見ておらず、出現するか不安でした。それでも、138タワーパークの端で何とか1頭を捕獲でき、皆でルーペを使って胸部の模様を確認してみました。比較対象のナツアカネが出現しなかったのは残念ですが、ほかにマユタテアカネ、ミヤマカナネ、リスアカネをそれぞれ1頭ずつ見ることができました。種数は4種見られたことで、まあまあといえますが、個体数は満足できるレベルではありません。赤トンボ、特にナツアカネアカネ



(ノコギリクワガタを観察しているとアサギマダラの舞う姿が)

は、何が原因かははっきりしませんが、この辺りでは以前と比べ激減してしまいました。比較的よく見られたマユタテアカネさえもここ数年減少傾向が続いているように感じられて、この先が心配です。

蝶は越冬する秋型が羽化したキタキチョウの姿が目立ちましたが、渡りの途中のアサギマダラも優雅に飛んでいました。野鳥園のフェンスの内側に止まったので、残念ながら近くで見ることができませんでした。同じく渡りをする蝶で、9月からよく見られるようになったウラナミシジミが集団で吸水しているところを見ることができました。キタキチョウが集団で給水するところはよく見かけますが、シジミチョウの仲間もするんですね。

樹液の出ている近くではノコギリクワガタが見られ、林の中からはツクツクボウシの鳴き声もしていました。秋も深まってきましたが、夏の名残を楽しんでいるかのようでした。

138タワーパークから大野極楽寺公園にかけての堤防道路脇は草刈りが行われ、観察対象の植物がほとんど消失して単調な景観となっていました。先月まで花を付けていたカワラケツメイの大きな群落もすっかり刈り取られていました。(残念!!) 昨年落ちた種子が発芽して、来年再生することを期待しています。(報告：齋竹)

### <その他観察できたもの>

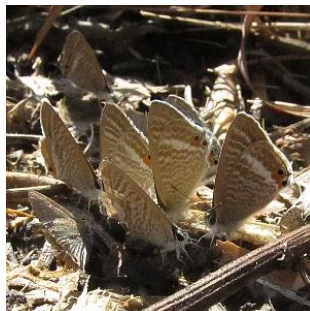
虫：ウスバキトンボ、オオシオカラトンボ、ギンヤンマ、モンシロチョウ、ヤマトシジミ、ウラギンシジミ、ベニシジミ、ヒメジャノメ、ヒメウラナミジャノメ、ナガサキアゲハ、アオスジアゲハ、トノサマバタ、イナゴsp(ハネナガイナゴ又はコバネイナゴの長翅型)、ツチイナゴ、ツクムシ、アオマツムシ(声)、エンマコオロギ(声)、コガタズズメバチ、オオハナアブ、キロテントウ、コイチャコガネ

鳥：キジバト、ヒヨドリ、モズ、ハクセキレイ、シジュウカラ、ヤマガラ、メジロ、ハシボソガラス、ウグイス(声)

花：ネナシカズラ、アメリカネナシカズラ、セイタカアワダチソウ、クワイモ、ブタナ、ヤブマメ、アシチハナガサ、ツククサ、ミスヒキ、ギンミスヒキ、キツネノマゴ、イヌコウシュ、マメアサガオ、ホシアサガオ、ヘラオモダカ、ヒガンバナ、チャ、エゴノキ(季節外れ)



池にいたリスアカネ♂



ウラナミシジミの集団吸水



まだ見られたノコギリクワガタ



草刈でカワラケツメイ消失